

大会宣言

明日の新潟県を担う青少年が心身ともに健康で明るく活力ある社会人として成長することは、県民の心からの願いです。

しかしながら、青少年の非行を始めとする問題行動の現況は誠に憂慮すべき情勢にあり、このような現況に対処し非行防止対策を強力に推進して、青少年を健全に育成することはすべての県民に課せられた責務であります。

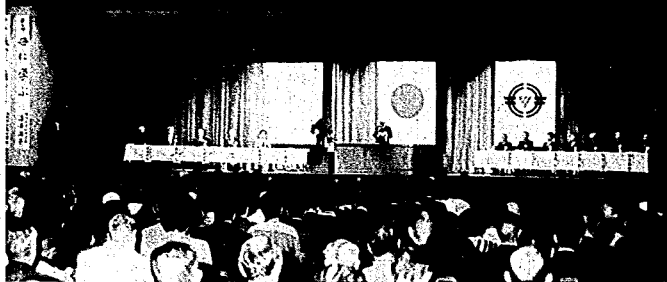
ここに私たちは決意を新たにし、県民あげて青少年の健全育成運動を強力に進め、明るく希望にあふれた健やかな青少年がはぐくまれる新潟県を目指し、次のことを宣言します。

記

- 1 私たちは、家庭におけるしつけの重要性を認識し、明るく家庭づくりをすすめます。
- 2 私たちは、地域における連帯意識の醸成に努め、学校や関係団体等と連携を図りながら地域ぐるみで青少年の健全育成をすすめます。
- 3 私たちは、青少年が誘惑に負けない強い心と信念を養い、併せて自らの役割を自覚し、すすんで社会参加できるようその条件整備をすすめます。
- 4 私たちは、青少年をとりまく有害環境の浄化運動をすすめ、非行防止活動を積極的に推進します。

昭和61年11月12日

青少年健全育成県民大会



約1500人の関係者が集まった大会

大きく広げよう健全育成運動

青少年健全育成県民大会に1500人が参加—*



健全育成成功者などを表彰

さる11月12日、青少年健全育成県民大会が、約1500人の関係者を集めて市民会館で開かれました。知事のあいさつや来賓の祝辞などのあと、青少年健全育成に功労のあった6人と2団体、そして模範青少年2人を表彰。当市からは、渡辺茂昭氏(小口・58歳)と柄目木芸能保存会が表彰されました。

このほか、今年度の少年の主張大会優秀者の発表や若林繁太長野県篠ノ井旭高校名誉校長の講演などがあり、最後に、左に掲載した大会宣言を参加者全員で採択。県民あげて青少年の健全育成運動を促進することを確認しました。



新津市民謡連盟によるアトラクションを披露



講演される若林先生

花とみどりと石油の里



12/1

575号
昭和61年

人口の異動

■人口 64,656(+9)	10月中の動き
男 31,359	□出生 59 □死亡 32
女 33,297	□転入 114 □転出 132
■世帯数 16,973(+9)	□結婚 48 □離婚 5

10月31日現在

- 主な内容 ……
- ▶リハビリ相談会の紹介……………②③
- ▶市政功労者を表彰……………④
- ▶盛りあがる市展……………⑤
- ▶揚げもの火災、にご注意を……………⑥
- ▶民生(児童)委員が決まりました……………⑦
- ▶国民年金、任意加入の人も強制加入に……………⑧